

# 青森県の住教育 ～教育現場の視点から～

副読本の作成

住生活出前  
授業の試行

2. 巣立ちプログラム  
巣立ちに必要なリビングリテラシーを向上  
①住生活に関する平易な内容の小・中学校家庭科の住教育副読本・教材の作成(H29～)  
②技術・家庭科や総合的学習における出前授業(建築士等住生活関連分野の専門講師による学習機会の提供)(H29試行)

【H30事業】  
①「青森県住まい・住環境学習指針」の周知及び住生活に関する副読本等の活用に関する家庭科担当教員向け研修会の開催  
②小・中学生向け住教育副読本、教材の作成及び授業における副読本の活用に関する家庭科担当教員向け研修会の開催  
③小学校～高校での「リビングリテラシー向上」出前授業

青森県立青森西高等学校  
木村 紀子

# 青森県の住教育～教育現場の視点から～

## 副読本の作成

【現状と課題】  
◆低い耐震化率  
耐震診断や耐震改修工事の取達等、住まいと向き合う基礎知識が不足  
◆停滞する自治会、町会活動  
自治会活動への無関心、居住マナー欠落等、コミュニティ、共同で住生活を営む意識が不足  
◆伸び悩む中古住宅流通  
新築住宅、持ち家への偏向等、ライフスタイルに応じた住宅や住まい方を選択する能力が不足  
◆求められる住教育の充実  
技術家庭科における「衣食住」の学習項目のうち、住生活に関する学習が不十分

【解決の方向性】  
◆県民一人ひとりが将来にわたりより良い住環境で暮らしていこうとする意識改革・環境形成が必要  
▶より豊かな住生活を実現しようという県民の意識醸成  
▶住生活の情報提供等による県民のリビングリテラシー向上  
▶住生活全体を学習環境として子どもの考える力や生きる力を育む住教育の実施

住宅施策として住教育を支援

【現状と課題】  
◆求められる住教育の充実  
技術家庭科における「衣食住」の学習項目のうち、住生活に関する学習が不十分  
【解決の方向性】  
・住生活全体を学習環境として子どもの考える力や生きる力を育む住教育の実施



現行学習指導要領（副読本は新学習指導要領に対応）	
小学校 家庭科	(2) 快適な住まい方について、次の事項を指導する。 ア <b>住まい方に関心</b> をもって、 <b>整理・整頓や清掃の仕方</b> が分かり工夫できること。 イ <b>季節の変化</b> に合わせた生活の大切さが分かり、 <b>快適な住まい方</b> を工夫できること。
中学校技術家庭科 家庭分野	(2) 住居の機能と住まい方について、次の事項を指導する。 ア <b>家族の住空間</b> について考え、 <b>住居の基本的な機能</b> について知ること。 イ <b>家族の安全を考えた室内環境の整え方</b> を知り、 <b>快適な住まい方</b> を工夫できること。
高等学校 家庭基礎	ウ住居と住環境 <b>住居の機能</b> 、 <b>住居と地域社会とのかかわり</b> などに必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、 <b>安全で環境に配慮した住生活</b> を営むことができるようにする。

# 青森県の住教育 ~教育現場の視点から~ 住生活出前授業の試行

物件探しを通して平面図を読み取り自分の生活を描いてみよう。  
(自分の住要求に気付く)

- 一人暮らし (学生・社会人) をする設定をし、物件選びをする
- 選んだ理由をシェアそして宅地建物取引協会からのアドバイス

ライフステージごとに変化する住要求に気づき、住まい方について考える

住む人の暮らしを大切にした建築士のお話  
年齢に応じた住要求 (20代・60代)  
生徒の考えをシェアそして建築士からのアドバイス

# 青森県の住教育 ~教育現場の視点から~ 住生活出前授業の試行


### ① ライフステージに応じた住居の選択

住まいの物件探しを通して平面図を読み取り自分の生活を描いてみよう。

住んでみたい物件\*の条件を考えよう

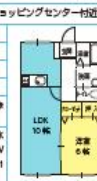
**A** 家賃 28,000円 新築近

- なし 1ヵ月 1ヵ月
- 2,500円/月
- H10
- 木造 2階建 1階
- 駅徒歩3分
- 風呂: 乾燥シャワー、トイレ: 水洗、エアコン、角部屋



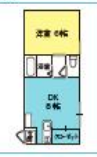
**B** 家賃 52,000円 ショッピングセンター付近

- 1ヵ月 1ヵ月
- 3,000円/月
- H25
- 木造 2階建 2階
- ショッピングセンターバス停徒歩10分
- 風呂: 乾燥シャワー、トイレ: 水洗、エアコン、FFストーブ、TV、パソコン、ネット無料、駐車場1台無料、新築




**C** 家賃 42,000円 大学近く

- なし 1ヵ月
- 2,500円/月
- H20
- 木造 2階建 2階
- 〇〇大学徒歩5分
- 風呂: 乾燥シャワー、トイレ: 水洗、エアコン、FFストーブ、バルコニー、角部屋、家具付、TV、パソコン、ネット無料



**D** 家賃 27,000円 大学近く

- 1ヵ月 1ヵ月
- 2,000円/月
- H4
- 木造 2階建 1階
- 〇〇大学徒歩1分
- 風呂: 乾燥シャワー、トイレ: 水洗、FFストーブ、ロフト、ベランダ





### ② 個人とほかの人の住要求を比較してみよう

自分が物件を選ぶ条件は何か考えてみよう。優先順位を置いてみよう。

条件①	理由
条件②	理由
条件③	理由

条件が決まったら友達と共有してみよう。自分と違ったり同じだったりしたところはあったか、グループで話し合い、これは欠かせないという条件を出し、ほかのグループと比較しよう。

友だちのグループに比べて

②p.20の物件A~Dの中から、自分たちの条件に合ったものを選んでみよう。

私たちのグループが選んだ物件は 〇 の物件です。なぜなら、からです。

③ほかのグループの条件をメモしよう。

④生活の糧としての住居の条件について気づいたことは何か、今後の生活にどのように生かしたいか書いてみよう。

気づいたこと

今後の生活に生かしたいこと

### ③ 家族の生活と住居の計画

住まいのライフステージごとに変化する住要求に基づき、住まい方について自分なりに考えてみよう。

年齢に応じた人生設定をしながら、必要な「住まい」を書いてみよう

設定① (20代~50代)

- 年齢
- 家族構成
- その他

<例1>  
・既婚  
・子ども2人(男女)  
・職と専業主婦

<例2>  
・既婚  
・子育て  
・趣味の範囲が広い

どのような暮らしが必要か?

設定② (60代)

- 年齢
- 家族構成
- その他

<例1>  
・既婚、職は専業主婦  
・子どもは独り立ち  
・夫と2人暮らし

<例2>  
・1人だと不安  
・ペットと同居生活

どのような暮らしが必要か?

ライフステージに対応した住まいとは


ゲスト

住む人の暮らし方や先を見通した設計をしている建築士の方が話を聞いてみよう。


話を聞いて学んだことや感じたことを書こう

下の写真のような住まい方もたくさんメリットがあります。


住みかえ (中古戸建住宅)




住みかえ (集合住宅)



リフォーム



コレクティブハウス/シェアハウス



# 青森県の住教育 ~教育現場の視点から~

## 住生活出前授業の試行 生徒の反応



写真：専門家活用授業（左：宅地建物取引協会 右：建築士）

# 青森県の住教育 ~教育現場の視点から~

## 住生活出前授業の試行 生徒の反応

【高校を卒業し、社会人や学生になって一人暮らしをする場合、どの物件を選び生活をするか、条件を出し合ってみよう】

●個人の住要求

物件を選ぶ条件は何か考えてみよう。優先順に書いてみよう。

条件1 日付入り	理由 日付入りがいいから
条件2 2人部屋	理由 2人部屋がいい。一人は不便。
条件3 近所	理由 近所がいいと思ったから。

◇条件が決まったら友達と共有してみよう。グループ

自分と違ったり同じだったりしたところがあったか  
グループで話し合い、これは欠かせないという条件を出し、他のグループと比較しよう。

欠かせない条件はこれだ！ 家賃 方角

●図の中から、自分たちの条件に合った物件を選んでみよう。グループ

私たちが選んだ物件は ..... 番の物件です。

なぜなら、..... だからです。

●ゲストティーチャーからアドバイスをいただく。講師のお話

グループで選んだ物件を紹介し、専門家からアドバイスをいただきます。

アドバイスをメモしよう。

ゲストティーチャー  
物件選びで失敗しないよう、物件のプロから、物件情報の読み取りに役立つ内容についてアドバイスをいただく。

●生活の場としての住居の条件について、気付いたことは何か、今後の生活にどのように生かしたいか。個人

気付いたこと

- 給湯の半分 家賃の節約
- 古いモノと、家の作り、音の心配はあったりする。

・収入・交通手段など自分の生活を  
考えて物件を選ぶことが大切だと気付き、自分で選ぶ時役立てたいです。

### ③ 家族の生活

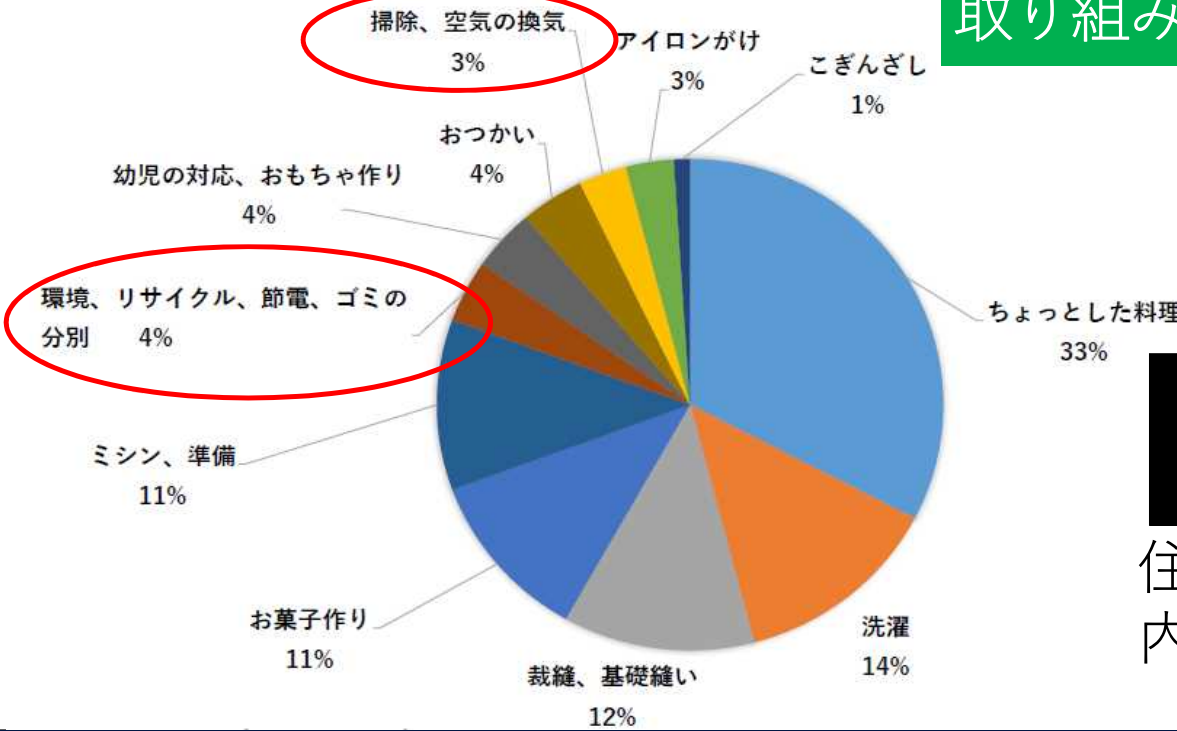
年齢に応じた人生設定をしながら、必要な「住まい」を書いてみよう

<p>設定① (20代~50代)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年齢 30歳</li> <li>家族構成 妻、子ども2人</li> <li>その他 親と暮らす、ペット、景色がいい</li> </ul> <p>&lt;例1&gt; - 既婚 - 子ども2人 (男女) - 親と暮らすかも?</p> <p>&lt;例2&gt; - 独身 - 趣味の部屋が欲しい</p>	<p>どのような部屋が必要か?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 広い</li> <li>- ペットが飼育可能な家</li> <li>- 景色がいい</li> </ul>
<p>設定② (60代)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年齢 60歳</li> <li>家族構成 妻と2人暮らし</li> <li>その他 近所と静かな環境の部屋</li> </ul> <p>&lt;例1&gt; - 既婚、親は死去 - 子どもは独り立ち - 夫と2人暮らし</p> <p>&lt;例2&gt; - 1人だと不安 - ペットと共同生活</p>	<p>どのような部屋が必要か?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 広くせまい</li> <li>- 小部屋が2つくらい</li> <li>- 快適</li> </ul>

ライフス  
・子供が生まれてから晩年期まで5つのステージで捉えることができることを知りました。家族などの状況に応じた住まいがあると分かって、自分がそうなったとき、見通しを立てて、住みやすさを追究したいです

# 青森県の住教育～教育現場の視点から～

## 住生活出前授業の試行 取り組みの成果



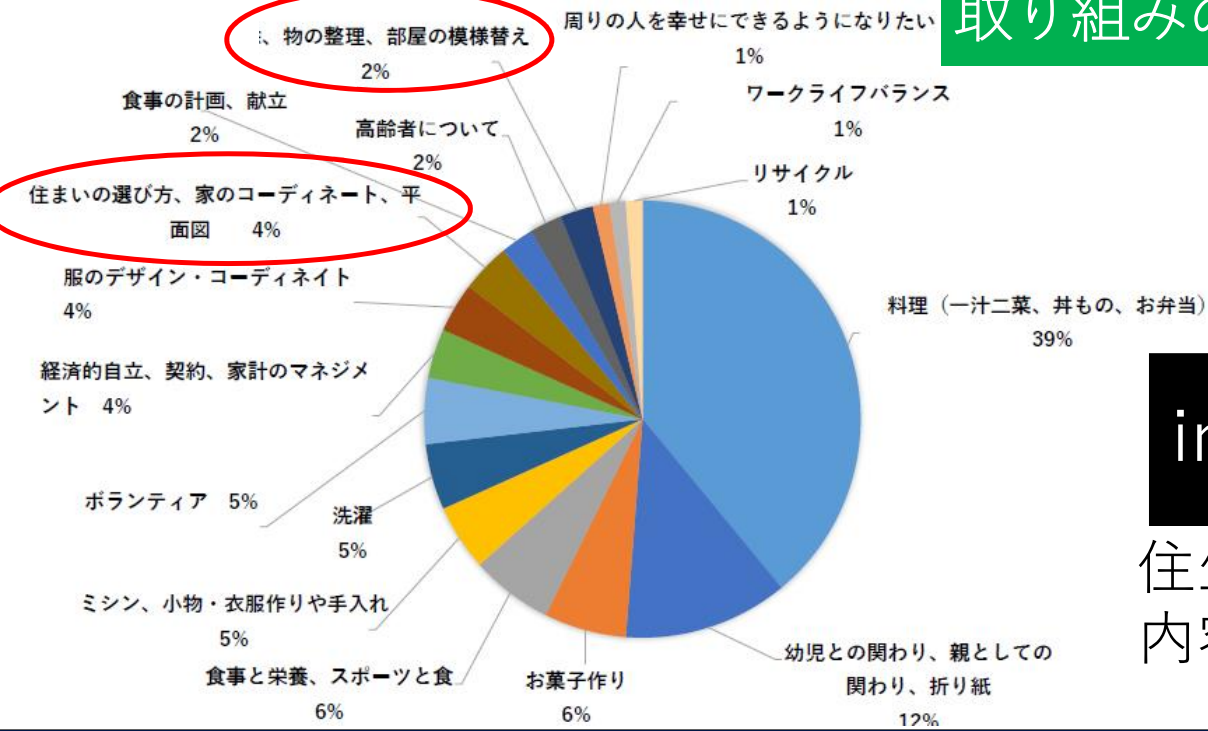
before

住生活に関する  
内容 7%

図：ガイダンス（4月実施）中学校までに、学習した内容や自分でできること

# 青森県の住教育～教育現場の視点から～

## 住生活出前授業の試行 取り組みの成果



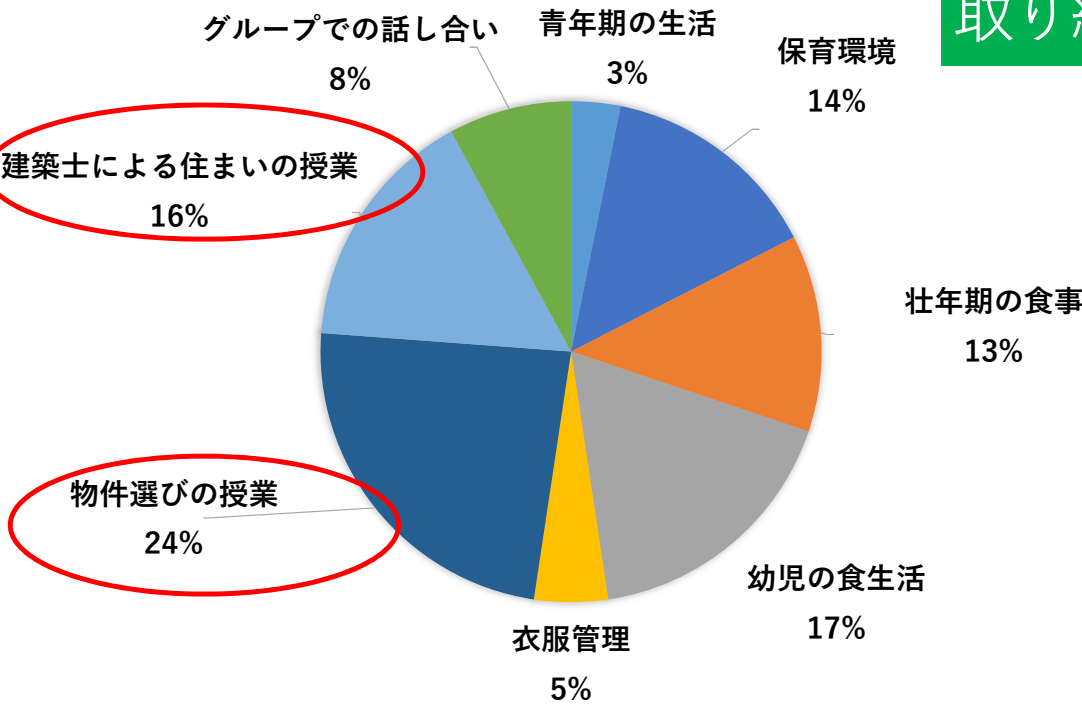
interest

住生活に関する  
内容 6%

図：ガイダンス（4月実施）高等学校の学習で身に付けたいこと

# 青森県の住教育 ~教育現場の視点から~

## 住生活出前授業の試行 取り組みの成果



after

住生活に関する  
内容 40%

図：振り返り（12月実施）高等学校の学習で生活に役立つこと、将来役に立つこと

# 青森県の住教育 ~教育現場の視点から~

## 住生活出前授業の試行 取り組みの成果

**建築士**

**求める人物像**  
既成概念の枠にとらわれない多様な発想、好奇心旺盛でチャレンジ精神と自らの信念をも、行動できる人。

**カリキュラム**  
表現技法、建設設計概論、デザイン造形実習、BIM、住環境設計

**資格**  
一級建築士（卒業後、実務経験4年+受験可能）  
二級建築士（実務経験2年+卒業後、下(一)受験可能）  
建築施工管理技士（二級は卒業後2年+受験可能、一級は卒業後5年+受験可能）

**日本を代表する建築士**  
藤本 壮介  
1971年 北海道生まれ（49歳）  
東北大学特任准教授  
日本建築大賞（2008年）  
JIA新人賞（2004年）

**創造の未来**  
House N  
Elvite  
"arbre blanc de"

**仕専内容**  
基本設計 2~3ヶ月  
申請・実施設計 2~5ヶ月  
工事業者選定 1ヶ月  
工事発注 5ヶ月  
初回面談  
重要事項説明 1ヶ月  
設計契約

一級建築士試験  
(卒業に応じた年数の実務経験)  
設計事務所 建設会社 官公庁  
大学院  
大学(工学部建築学科)  
短大 専門学校  
高校



after

住教育に関する  
内容 2 / 13系列  
12 / 241名

◆課題解決学習  
(冬季休業中)  
ホームプロジェクト  
自宅の整理整頓・模様替え 25%

写真：総合的な学習の時間【進路探究】（11~1月実施）

- ・ 打合せ計画
- ・ 地域生活に応じた改善
- ・ 学習指導要領に応じた改善
- ・

関係機関との継続連携

外部講師リストの拡充

副読本の活用促進